

# アスクルが目指すサステナブルなEC物流

資料 1-7



アスクル株式会社  
ロジスティクス本部 ロジスティクスネットワーク 統括部長  
服部 充宏

# アスクルの2大事業

## B to B 事業



**事業所向け通販事業**  
**(24/5期売上高 4,091億円)**

## B to C 事業



**個人向けインターネット通販事業**  
**(24/5期売上高 532億円)**

# 全国当日・翌日配送を実現する主要10センター

B to B事業のみ：   
B to B事業 + B to C事業：   
B to C事業のみ： 



# アスクルの物流運営の特徴

全国当翌日配送を  
実現する物流基盤



高度に自動化  
された物流設備



自社グループ  
100%の庫内運営



## 商品特性

日々の業務に不可欠な定番品・日用品

## お客様のニーズ

「すぐに届けてほしい」「明日の業務に必要」

**オートメーション化**により

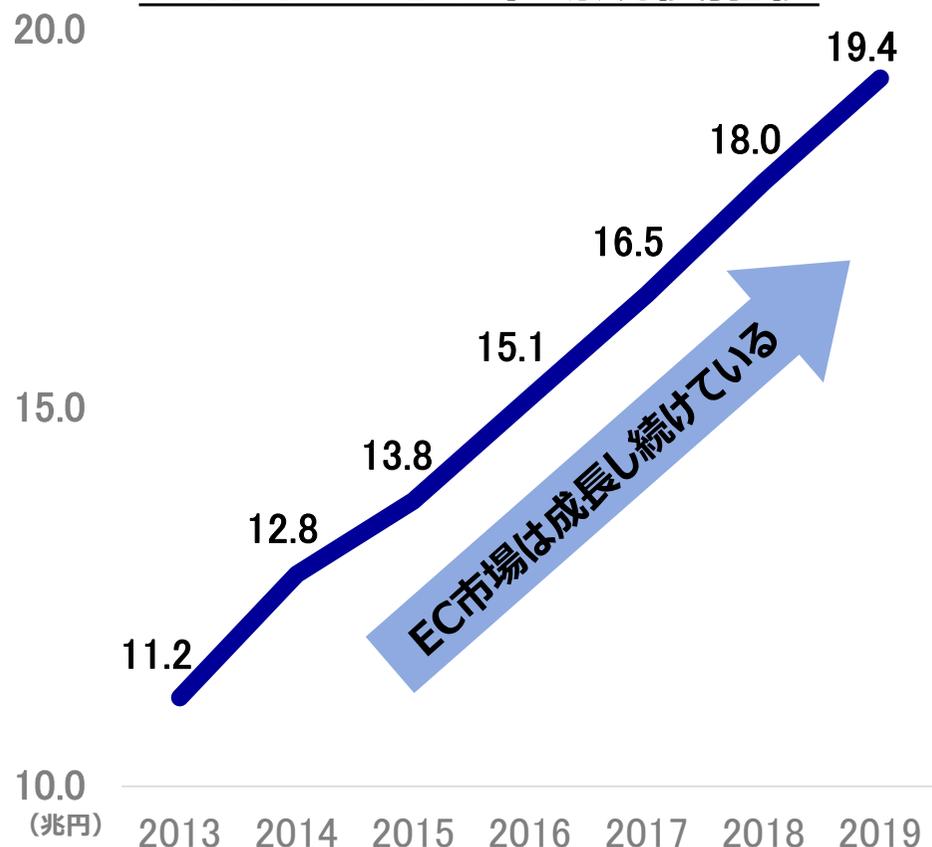
複数のコモディティ商品を**1箱に梱包、**

**最速で出荷**

**仕事場の定番品や日用品の E C に最適**

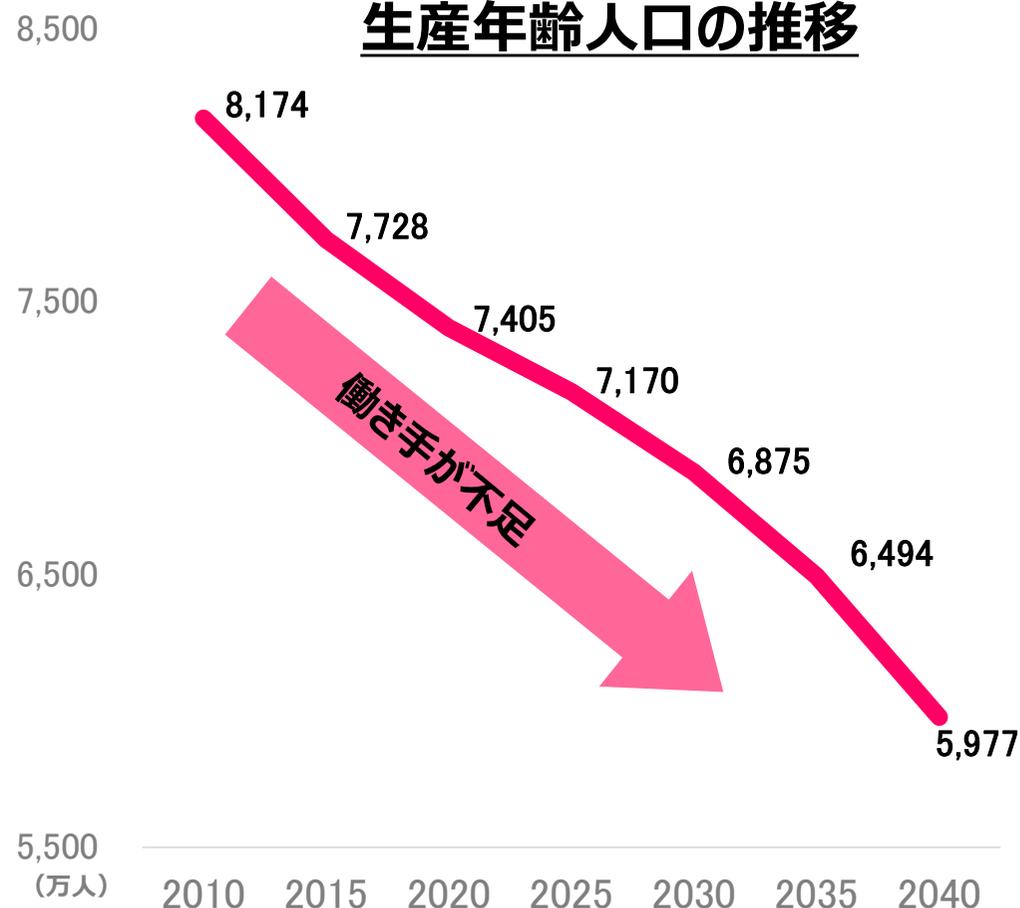
# 【市場背景】市場の成長に対して働き手は減少

## BtoC ECの市場規模推移



(出典) 経産省「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）」をもとに作成

## 生産年齢人口の推移



(出典) 2015年まで：総務省「国勢調査」、「人口推計（各年10月1日現在）」、2016年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月）」（出生中位・死亡中位推計）

# 購買行動のパラダイムシフトにより E C 市場拡大

CONSUMER  
BEHAVIOR

DIGITAL  
INNOVATION

DIGITAL  
TRANSFORMATION

DATA  
CONSOLIDATION

## E C の構造問題を解決する 新たなロジスティクスモデルへの進化が必要

COMBINING  
TASKS

AUTOMATE TASKS

EFFECTIVE  
COMMUNICATION

STRATEGIC  
PARTNERSHIP

ANALYZE DATA

## 物流現場は人手不足が加速 従来運用では、拡大する市場に対応できない

BUSINESS  
TRANSFORMATION

MULTIDISCIPLINARY  
TEAM

CHANGE  
QUICKLY

DIGITAL CHANNELS

ONLINE  
INTERACTION

# 需要拡大と供給逼迫を両立するためのポイント

消費者との  
共創

自動化  
省人化

# “翌日お届け”をデフォルト設定に変更

当日/翌日配送のバランスを調整し、ドライバーの生産性向上および  
労働環境改善を目指す

The image shows a screenshot of an online shopping interface. On the left is a product page for 'Original' (オリジナル) A4 paper. The product is 'Super White+' (スーパーホワイト+) A4 paper, 5000 sheets (500 sheets x 10 reams), high white, Asクル Original. The price is ¥4,270 (tax included), ¥3,882 (tax excluded), and ¥0.86 per sheet (tax included). On the right is a confirmation dialog box with the title 'レジ画面でお届け日をご確認ください' (Please confirm the delivery date on the checkout screen). The dialog contains the following text: 'お届け日の標準設定が翌日以降となっているため、最短日でのお届けをご希望の場合はお急ぎ便のご指定をお願いいたします。' (Because the standard setting for the delivery date is after the next day, if you want the earliest delivery, please specify expedited shipping.) and '※マイページにて、お急ぎ便を標準設定とする変更が可能です。' (※You can change the standard setting to expedited shipping on your My Page.) There are two buttons: a blue button that says '今回のご注文はお急ぎ便に変更する (追加料金なし)' (Change this order to expedited shipping (no additional charge)) and a white button that says '閉じる' (Close). At the bottom of the dialog is a checkbox labeled '次回以降はこの注意書きを表示しない' (Do not display this notice from next time).

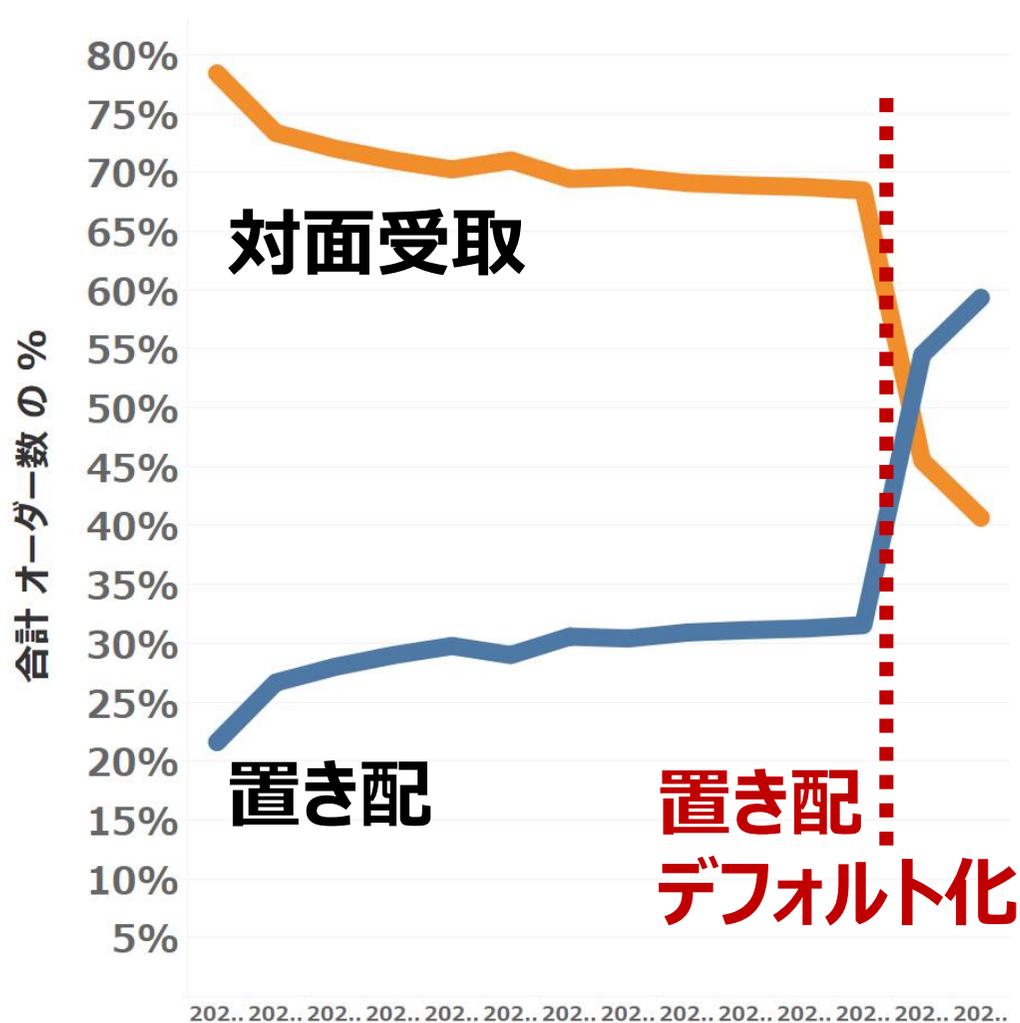
当日配送の配送個数 約60%減少

配送ドライバーの配送生産性 11%向上

労働時間が1日あたり平均45分短縮

※名古屋センターの配送エリアで行った実証実験の結果

# 置き配の普及を推進し、直近はデフォルト設定へ変更



# オートロックのお客様へはスマート置き配を活用

## スマート置き配

オートロックマンション向け  
置き配対応化サービス



# 楽 便利

再配達減った

時間の制約なくなった

重い商品を玄関まで

# 受注波動対策としてオトク指定便を開始

## LOHACO Yahoo!店



## LOHACO 本店



## 日時指定画面



# 約50%のお客様はキャンペーンの趣旨に賛同

## LOHACO Yahoo!店



平準化率

51%

## LOHACO 本店



平準化率

48%

# 商品開発時点からEC物流を考慮した設計

Before

一般的な  
2 L ペットボトルは  
同梱できない



After

5本入りで同梱できる  
商品を開発

商品計画

出荷

配送

LOHACO  
Water

企画・  
製造、  
価格設定

段ボール箱の底面へ

1箱で配送



# 輸配送と保管の効率を考えたメーカー様との商品開発

Before

25m巻き×18ロール=450m  
75m巻き同様にするためには18ロール必要

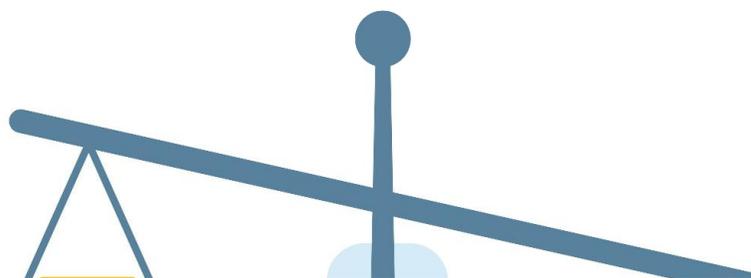


25m巻きで75m用意した場合

After

75m巻き×6ロール=450m  
体積1/3で  
輸配送と保管の効率を向上





**エシカル消費への理解は確実に高まっている**



# 物流プロセスは自動化、省人化を推進

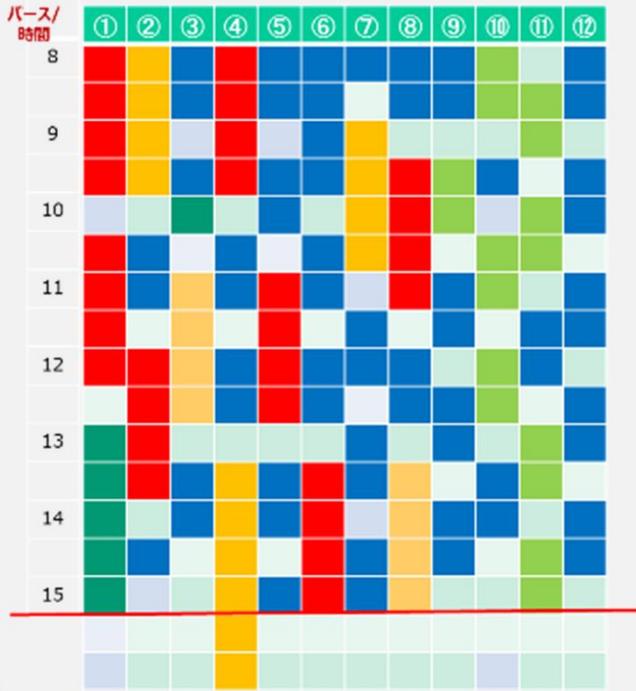


バース予約システム	取引先ポータルEDI	AMR	荷揃え順立て出庫シャトルシステム	輸送計画
	検品レス入荷	デジタルピッキングシステム	高さ可変梱包機	配車計画
ASN・SCM	パレット搬送AGV	ピッキングロボット	デパレタイズロボット	ドライバーアプリ
オリコン納品	棚搬送AGV	GTP	ソーター・仕分けシステム	車両仕分けアプリ
自動倉庫				
人手作業				

- ・バース：トラックバースの略。荷物の積み下ろしをするためトラックを駐停車しておくスペースのこと
- ・ASN：Advanced Shipping Notice（事前出荷通知）の略。サプライヤー等が、物流センター側に出荷情報（納品日、商品情報、数量など）を事前に通知すること
- ・SCM（Shipping Carton (Container) Markingの略。オリコン等に貼るバーコードのついた納品ラベル（SCMラベル）を指す。荷物の受け取り側が開梱しなくても、内容詳細や伝票番号等を確認できる
- ・EDI：Electronic Data Interchangeの略。電子データ交換のこと。企業間で発注書や受注書、納品書、請求書などの帳票のやり取りをネットワークを介して、電子データで行う

# バス予約システムを全センターに導入、待機時間を短縮

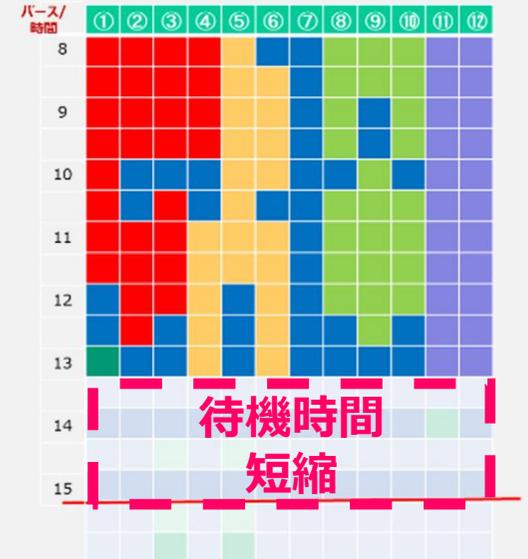
Before



After



- バス予約の仕組みを導入
- ✓ トラック待機時間短縮
- ✓ 入荷キャパシティ増加



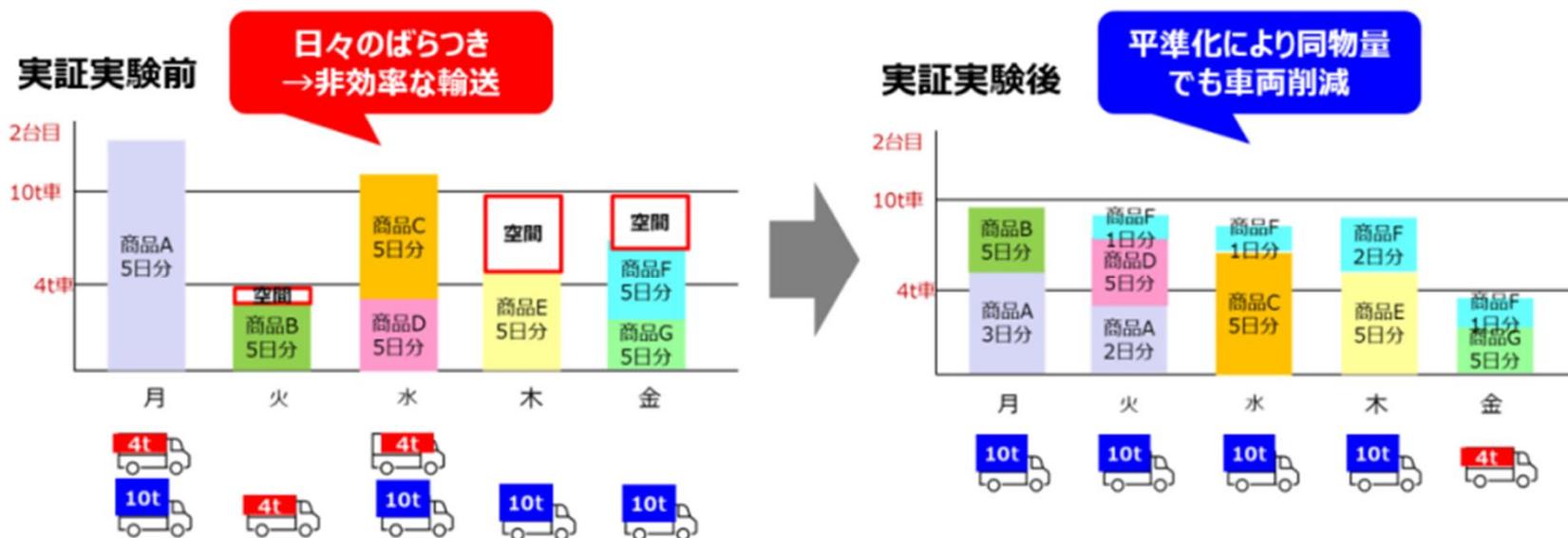
平均待機時間を30分削減

※関西DC導入結果

# 納品車両の積載量を意識した発注

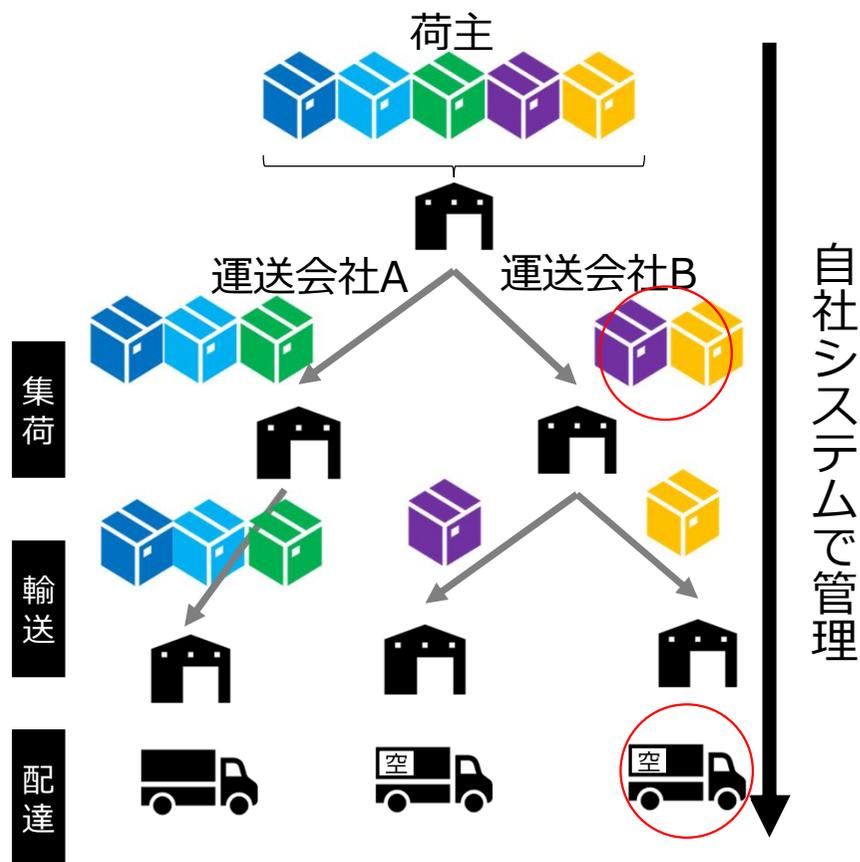
「必要なモノを、必要な時に、  
その都度発注する」方式

「必要なモノを、必要な時に、  
輸送車両が満載で」方式



需要予測をもとに「品切しないタイミング」かつ「輸送車両が満載になる」ように発注することで、納品車両が高積載となる仕組み。特に専用便でアスクルに納品いただいているサプライヤ様と協業

# 物流業界への期待感・課題

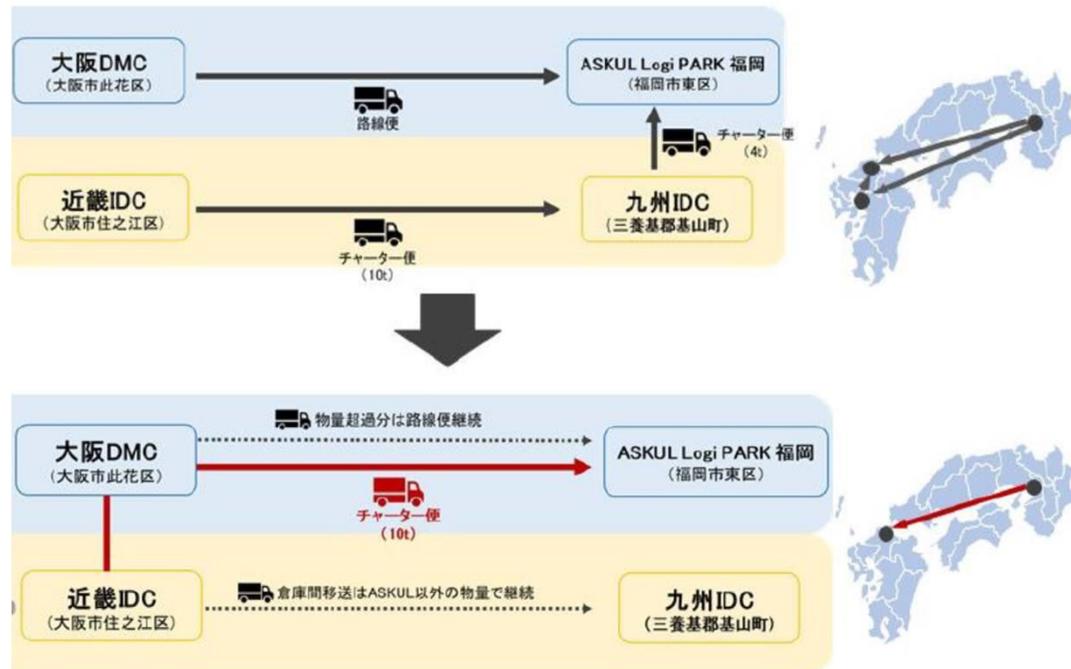


## ■現状と課題

- ✓ 荷主から受託した荷物は運送会社固有のシステムで管理しており、問番体系(管理体系)も異なっている  
(荷物の希薄化が進むアンダー方向に、運送会社の多重構造化が進みやすい状況となっている)
- ✓ トラックの空き状況は複数の運送会社の情報を重ね合わせる必要があるが、運送会社ごとに異なるデータなので、重ね合わせることも難しい  
(積載量の効率化や共同配送を検討するにあたってのハードルの1つ)

**各プロセスの需給状況を統一規格に沿ってデータ化をし、オープンにシェアリング・マッチングできる仕組みの構築が必要**

# 物流業界への期待感・課題



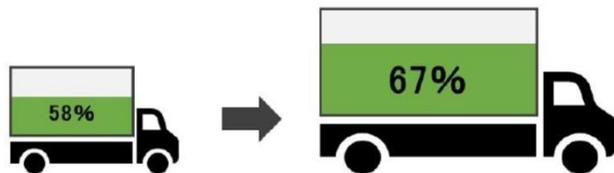
## ■ アスクルの取り組み ・サプライヤ様と同一輸送先への 共同輸送

相互に調達していた輸送車両の集約化を実現することで、同一の輸送物量に対しての車両積載率を向上させるとともに、CO2排出量も削減する取り組み。

## ・その他のサプライヤ様とも共同配送実現に向けて検討中

### 積載率の向上

チャーター便使用比率が増加したことで積載率が向上



※2021年10月1日～2022年9月30日の輸送量での試算

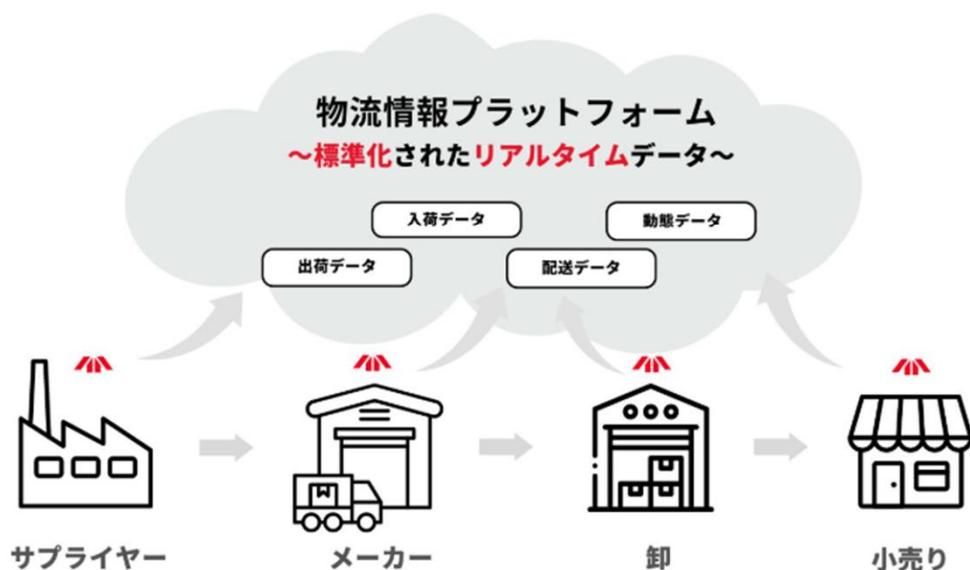
# 物流業界への期待感・課題

業界・業態を超えた物流情報の利活用へ

データ標準化

情報連携

共同輸配送



## ■アスクルの取り組み

### ・物流アプリケーション開発会社主催の物流ビッグデータラボに参画

参加企業がアプリに蓄積されている物流データ（バース予約、配車データなど）を共有し、個社や業界の垣根を超えて共同輸配送の実現を目指す取り組み。

### ・アスクルでも共同配送可能な路線を洗い出し、マッチングした企業様と共同配送実現に向けて検討中

【出典】Hacobu社プレスリリースより抜粋  
<https://hacobu.jp/news/11381/>



あす

仕事場とくらしと地球の明日に「うれしい」を届け続ける。